

第1回教育創生フォーラム (2020年10月31日)

-人が幸せになる学びと教育の創生をめざして-

学びと教育の根源理念を掲げて新たなあり方を検討・問題提起

【理念】「社会・経済問題の根源は"人"であり、問題を解決して社会・経済を発展させるのも"人"である。人は何のために学び、教育するのか。それは人が幸せになるため、大切な人を幸せにするため、自らの夢をかなえるためである。」

学びと教育の方法・制度、教育機関と諸団体の人材育成等議論

第2回教育創生フォーラム (2022年2月26日)

-人が幸せになる大学の創生をめざして-

「大学」の教育と研究に焦点を当て議論

【1】人が幸せになる「大学教育の質保証」のあり方

【2】人が幸せになる「大学教員」のあり方

【3】人が幸せになる「大学経営」のあり方

第3回教育創生フォーラム (2023年2月23日)

-人が育み、仕事を育み、地域を育む学び合いと協働-

「地域」での学びと教育に焦点を当て議論

【1】“若者が自らを育む”

【2】“若者が仕事を育む”

【3】“若者が地域を育む”

地域と大学・学校の
「学び合いと協働」の
場や仕組みの創り方

第4回教育創生フォーラム (2024年3月2日)

-地域が必要とする大学・学校の創生-

「地域(社会)における大学・学校の存在意義」に焦点を当て議論

【1】世界・日本における

社会・産業構造の変化と

今後の人材育成のあり方

【3】地域社会・産業に必要不可欠な学びの場と仕組みの創り方

【2】社会・産業構造が変化する

今後の地域に必要不可欠な

大学・学校の姿

第5回教育創生フォーラム (2025年3月2日) -大学等と地域の"連携力"の創生-

地域活性化と人材育成で必要とされながら具現化が難しい「大学等と地域の"連携する力"の創生」を議論

【1】地域の多様な担い手が大学等と連携する上での障壁とその除去方策

【2】大学等と地域が「連携する力」を生み創り強化する方策

【3】大学等と地域の個別特性に基づく「地域活性化と人材育成の両立方策」

高等教育政策、大学等教育研究、
地域自治政策、自治体施策の
各立場から取組報告と問題提起

【中間総括】教育創生の必要性理解は各界共有されて政策再構築も進展(「教育研究の質向上(成長度等)」「大学等の経営改革・評価システム再構築」「社会・産業構造変化に応じた人材育成」「域学連携・大学等間連携の促進」「情報公開の促進」等)。だが、**方法・テクニックの考案・遂行にとどまる傾向で理念の深化・共有化と現場具現化の不透明感が続く**

【展望(今後の検討課題)】 ◎「実務家教員&実務家研究者」による教育研究・経営実態と今後のあり方

◎大学等の「**自浄能力向上**」の障壁とその除去方策(理念浸透の構造・体質改革,教育研究の質向上(成長度)具現化等)

◎「**教育・学修倫理**」の実態と遵守方策(手抜き授業・指導、生成AIコピペ単位修得、授業外学修不足等の防止) 等